

注3

大学番号：私039

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

聖学院大学 人文学部 児童学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人聖学院

令和元年5月1日現在

作成担当者

大学事務局学長室

ナルセ トモ
成瀬 知

電話番号 048-781-0925

(夜間) 048-781-0925

F A X 048-726-2962

e-mail genaffairs@seigakuin-univ.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について
(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人文学部

＜児童学科＞

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	24
4. 既設大学等の状況	25
5. 教員組織の状況	26
6. 附帯事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	42

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人聖学院

(2) 大 学 名

聖学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒362-8585
埼玉県上尾市戸崎1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(シミズ マサユキ) 清水 正之 (平成28年4月)		
学 長	(シミズ マサユキ) 清水 正之 (平成27年4月)		
学 部 長	(シミズ ヒトシ) 清水 均 (平成28年4月)		
学科長等	(カンバラ マサヒコ) 鎌原 雅彦 (平成30年4月)	(タザワ カオル) 田澤 薫 (平成30年4月)	選任のため変更。 変更年月日：平成30年4月1日(30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) 一① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人文学部 児童学科 学士(児童学)	文学関係 教育学・保育学関係	4年	100人	-	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) 一② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	100人 (ー) [若干名]	ー人	100人 (若干名) [若干名]	ー人	人 人 () []	人 人	人 人 () []	人 人	0.92倍	倍	
志願者数	158 (ー) [1]	ー (ー) [ー]	214 (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	151 (ー) [1]	ー (ー) [ー]	210 (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	141 (ー) [0]	ー (ー) [ー]	181 (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	70 (ー) [0]	ー (ー) [ー]	114 (ー) [ー]	ー (ー) [ー]	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	0.70		1.14								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	68 [-] (-)	— [-] (-)	114 [-] (-)	— [-] (-)							
2年次			68 [-] (-)	— [-] (-)							
3年次											
4年次											
計	68 [-] (-)		182 [-] (-)								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) ー④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成30年度	70 人	0 人	平成30年度	2 人	0 人	就職(1人)、他の教育機関への入学・転学(1名)
令和元年度	182 人	－ 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	－ 人	－ 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	－ 人	－ 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合 計	2 人	0 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) ー⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{70} = \boxed{2.85} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{182} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜人文学部 児童学科＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
基礎科目群	基礎科目	キリスト教概論A	1前	2								兼2
		キリスト教概論B	1後	2								兼2
		情報基礎	1前・後	2								兼2
	英語科目	ECA(Speaking) I	1前・後	2								兼4
		ECA(英語基礎表現)	1前・後	1								兼4
		ECA(Reading) I	1前・後	1								兼4
		ECA(Speaking) II	1後	2								兼1
		ECA(Reading) II	1後	1								兼1
		ECA(Cinema) I	1前・後	1								兼2
		ECA(Cinema) II	1前・後	1								兼2
		ECA(Cinema) III	2前	1								兼1
		ECA(Culture)	2前・後	1								兼2
		ECA(English through Songs)A	1前	1								兼1
		ECA(English through Songs)B	1後	1								兼2
		ECA(Pleasure Reading)A	1前	1								兼1
		ECA(Pleasure Reading)B	1後	1								兼1
		ECA(Business)	2前・後	1								兼2
		ECA(English for Omoetenashi)	1前・後	1								兼1
		ECA(Travel English)	1前・後	1								兼3
		ECA(Basic TOEIC)A	1前	1								兼1
		ECA(Basic TOEIC)B	1後	1								兼1
		ECA(Basic Grammar)	1前・後	1								兼1
	ECA(やり直しの発音)	1前・後	1								兼1	
	ECA(Global Understanding)	1前・後	1								兼1	
	第二外国語Ⅰ	ドイツ語Ⅰ	1前・後		2							兼2
		ドイツ語Ⅱ	1後		2							兼1
		フランス語Ⅰ	1前・後		2							兼3
		フランス語Ⅱ	1後		2							兼1
		スペイン語Ⅰ	1前・後		2							兼2
		スペイン語Ⅱ	1前・後		2							兼1
		イタリア語Ⅰ	1前・後		2							兼1
		イタリア語Ⅱ	1後		2							兼1
		中国語Ⅰ	1前・後		2							兼3
		中国語Ⅱ	1前・後		2							兼2
韓国語Ⅰ		1前・後		2							兼2	
韓国語Ⅱ		1前・後		2							兼1	

【令和元年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基礎 科目 群	基礎 科目	キリスト教概論A	1前	2								兼2	
		キリスト教概論B	1後	2								兼2	
		情報基礎	1前	2								兼2	
		日本国憲法	1前・後	2								兼3	
	英語 科目	アカデミックライティング	1後	1								兼1	
		Special Lecture Series	2後	2								兼1	
		ECA(Speaking) I	1前・後	2								兼5	
		ECA(英語基礎表現)	1前・後	1								兼4	
		ECA(Reading) I	1前・後	1								兼4	
		ECA(Speaking) II	1前・後		2							兼2	
		ECA(Reading) II	1前・後	1								兼1	
		ECA(Cinema)A	1前・後	1								兼2	
		ECA(Cinema)B	1前・後	1								兼2	
		ECA(Culture)	2前・後	1								兼2	
		ECA(English through Songs)A	1前	1								兼2	
		ECA(English through Songs)B	1後	1								兼2	
		ECA(Pleasure Reading)A	1前	1								兼1	
		ECA(Pleasure Reading)B	1後	1								兼1	
		ECA(Business)	2前・後	1								兼1	
		ECA(English for Omotenashi)	1前・後	1								兼1	
		ECA(Travel English)	1前・後	1								兼4	
		ECA(Basic TOEIC)A	1前・後	1								兼2	
		ECA(Basic TOEIC)B	1後	1								兼2	
		ECA(Basic Grammar)	1前・後	1								兼2	
		ECA(やり直しの発音)	1前・後	1								兼1	
		ECA(Global Understanding)	1前・後	1								兼2	
		ECA(留学生のための英語)	1前・後	1								兼1	
		ECA(Advanced English)	1休	4								兼1	
		第二外国語 I	ドイツ語 I	1前・後		2							兼2
			ドイツ語 II	1後	2								兼1
			フランス語 I	1前・後	2								兼3
	フランス語 II		1後	2								兼1	
	スペイン語 I		1前・後	2								兼2	
スペイン語 II	1前・後		2								兼1		
イタリア語 I	1前・後		2								兼1		
イタリア語 II	1後		2								兼1		
中国語 I	1前・後		2								兼3		
中国語 II	1前・後		2								兼2		
韓国語 I	1前・後		2								兼2		
韓国語 II	1前・後		2								兼1		
第二外国語 II	日本語1(文字語彙)A		1前	2								兼2	
	日本語1(文字語彙)B		1前	2								兼3	
	日本語1(総合)A		1前	2								兼3	
	日本語1(総合)B		1前	2								兼3	
	日本語1(文章表現)	1前	2								兼3		
	日本語1(口頭表現)	1前	1								兼3		
	日本語1(応用漢字)	1前	1								兼3		
	日本語1(文法)	1前	1								兼2		
	日本語1(アカデミックスキル)	1後	1								兼3		
	日本語1A	1後	1								兼1		
	日本語1B	1後	1								兼1		
	日本語1C	1後	1								兼1		
	日本語1D	1後	2								兼1		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手
基礎 科目 目 群	その他	日本国憲法	1前・後		2							兼3
		Special Lecture Series	2後		2							兼1
		地元学	1前		2							兼1
		宮原地域学	1前		2							兼1
		金石学	1前		2							兼2
		コミュニティサービスマーニングⅠ	2前		2							兼1
		コミュニティサービスマーニングⅡ	2後		2							兼1
		被災地支援・インターンシップA	1休		4							兼1
		被災地支援・インターンシップB	1休		2							兼1
		被災地支援・インターンシップC	1休		1							兼1
		アメリカ文化演習A	1休		4							兼1
		アメリカ文化演習B	1休		2							兼1
		オーストラリア文化演習	1休		4							兼1
		カナダ文化演習	1休		4							兼1
小計(95科目)			—									
教養 科目 目 群	人間理解への基盤を学ぶ	哲学	1前・後		4							兼1
		欧米文学	1前・後		4							兼1
		言語学	1前・後		4							兼1
		文学	1前・後		4							兼2
		文化学	1前		4							兼1
		西洋史	1前・後		4							兼3
		日本史	1後		4							兼1
		異文化間コミュニケーション	1前		4							兼1
		社会理解への基盤を学ぶ	政治学	1前・後		4						
	経済学		1前・後		4							兼3
	法学		1前・後		4							兼2
	社会学		1前・後		4							兼1
	障害児(者)の理解と社会		1前・後		4		1					兼1
	福祉環境学		1後		4							兼1
	自然理解への基盤を学ぶ	社会福祉概論	1前		4							兼1
		情報と社会	1後		4							兼1
		環境学	1前		4							兼1
		民俗環境論	1前・後		4							兼1
		職業人生と健康	1前		4							兼1
教養としての数学		1前		4							兼1	
小計(20科目)			—									
専門 科目 目 群		共通基本科目	キリスト教文化論A	3前	2				1			
	キリスト教文化論B		3後	2				1				
	児童学概論		1前	2			1					
	言葉の基礎		1前	2			2					
	教職演習A		2前		1				1			
	教職演習B		2後		1				1			
	教職演習C		3前		1				1			
	教職演習D		3前		1		1					
	教職演習E		3前		1				1			
	教職演習F		3後		1				1			
	教職演習G		4前		1				1			
	教職演習(小学校英語A)		2後		1				1			
	教職演習(小学校英語B)		2後		1				1			
	児童学海外研修	1休		4			1					
	児童文化系統	児童文化論	1後	2			1	1				
		絵本文化論	1前		2			1				兼1
		児童文学	1前・後		2			1				
		英米児童文学	1前		4			1				
		ファンタジー論	1後		4			1				
		おもちゃ論	2前		2							兼1
		異文化間教育	2後		2				1			
	心理学系統	教育心理学	2前	1			1					
		発達心理学	1後	2								兼1
教育相談(カウンセリングを含む。)		2後	2			1						

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
基礎科目群	地域学	地元学	1後		2							兼2
		宮原地域学	1前		2							兼1
		金石学	1前		2							兼3
	サービスラーニング	コミュニティサービスマーケティングⅠ	2前		2							兼1
		コミュニティサービスマーケティングⅡ	2後		2							兼1
		ボランティア体験の官能化教授と実用	1前		2							兼1
		被災地支援・インターンシップA	1休		4							兼1
		被災地支援・インターンシップB	1休		2							兼1
		被災地支援・インターンシップC	1休		1							兼1
		地域活動実習A	1休		4							兼1
		地域活動実習B	1休		2							兼1
		地域活動実習C	1休		1							兼1
	海外研修	アメリカ文化演習A	1休		4							兼1
		アメリカ文化演習B	1休		2							兼1
		オーストラリア文化演習	1休		4							兼1
		カナダ文化演習	1休		4							兼1
	海外文化演習	1休		4							兼1	
小計(140科目)		一										
教養科目群	人間理解への基盤を学ぶ	哲学	1前・後		4							兼1
		欧米文学	1前・後		4							兼1
		言語学	1前・後		4							兼1
		文学	1前・後		4							兼2
		文化学	1前		4							兼1
		西洋史	1前・後		4							兼2
		日本史	1後		4							兼1
		比較言語文化論	1前		4							兼1
		社会理解への基盤を学ぶ	政治学	1前・後		4						
	経済学		1前・後		4							兼3
	法学		1前・後		4							兼2
	社会学		1前		4							兼1
	障害児(者)の理解と社会		1前・後		4		1					兼1
	福祉環境学		1後		4							兼1
	社会福祉概論		1前		4							兼1
	情報と社会	1後		4							兼1	
	現代社会	1前・後		4							兼1	
自然理解への基盤を学ぶ	環境学	1前		4							兼1	
	民俗環境論	1後		4							兼1	
	職業人生と健康	1前		4							兼1	
	教養としての数学	1後		4							兼1	
	生命倫理学	1前		4							兼1	
	リハビリテーション入門	1後		4							兼1	
小計(23科目)		一										
専門科目群	共通基本科目	キリスト教文化論A	3前	2				1				
		キリスト教文化論B	3後					1				
		児童学概論	1前	2				1				
		教職演習A	2前		1					1		
		教職演習B	2後		1					1		
		教職演習C	3前		1					1		
		教職演習D	3前		1			1				
		教職演習E	3前		1					1		
		教職演習F	3後		1					1		
		教職演習G	4前		1					1		
		教職演習(小学校英語A)	2前		1			1				
		教職演習(小学校英語B)	2後		1			1				
	児童学海外研修	1休		4				1				
	児童文化系統	児童文化論	1後	2				1	1			
		絵本文化論	1後		2							兼1
		児童文学	1後		2			1				
英米児童文学		1前		4			1					
心理学系統	ファンタジー論	1後		4			1					
	Smile English(幼児の英語)	1後		2			1					
	おもちゃ論	2前		2							兼1	
	異文化間教育	2後		2				1				
	芸術と文化(西洋音楽)	3後						1				
心理学系統	教育心理学	2前・後	2				1					
	発達心理学	1前・後	2								兼1	
	子ども家庭支援の心理学	2後		2				1				
	教育相談(カウンセリングを含む。)	2前・後	2				1					

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担			
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手		
専門 科 目 群	教 育 学 系 統	教育原理	1前	2			1					兼1 兼1 兼1		
		キリスト教保育論	1後	2										
		教育社会学	2前	2										
		学校と教育の歴史	2前	2										
		社会教育論A	2前	2		1								
		社会教育論B	2後	2		1								
		現代社会と社会教育A	2前	2		1								
		現代社会と社会教育B	2後	2		1								
	福 祉 ・ 教 育 関 連 系 統	社会福祉	1後	2								兼1		
		相談援助	2前・後	1								兼2		
		児童家庭福祉	2前・後	2		1								
		保育原理	1前・後	2			1							
		社会的養護	2前・後	2								兼2		
		社会的養護内容	2前・後	1								兼1		
		乳児保育A	2前・後	1								兼1		
		乳児保育B	2前・後	1								兼1		
		保育相談支援	2前・後	1								兼1		
		障害児保育A	2前・後	1						1		兼1		
		障害児保育B	2前・後	1								兼1		
		子どもの保健A	2前	2								兼1		
		子どもの保健B	2前・後	2								兼2		
		子どもの保健演習	2後	1								兼1		
		家庭支援論	3前	2			1							
		子どもの食と栄養A	2前	1						1				
		子どもの食と栄養B	2後	1						1				
	専 門 科 目 群	教 育 関 連 科 目	国語	1後	2				1					
			社会	1後	2				1					
			算数	1後	2				1					
			理科	1前	2				1					
			生活	1前	2				1					
			家庭	1後	2					1			兼1	
			外国語	2前	2								兼1	
			図画工作A	1前	1		1							
			図画工作B	1後	1		1							
			体育A	1前	1								兼1	
			体育B	1後	1								兼1	
			音楽A	1前	1			1					兼4	
			音楽B	1後	1			1						
			音楽・器楽A	2前	1			1					兼5	
			音楽・器楽B	1後	1			1					兼5	
			音楽・合奏指導	1前	1								兼1	
			教師論	1前	2			1	1					
		保育実践演習A	2前・後	1		1								
		保育実践演習B	2前・後	1				1						
		教職実践演習(幼・小)	4後	2		4	2	4	1					
		教育・保育課程論	2後	2			1							
		保育内容総論	1後	2			1							
		専 門 科 目 群	専 門 科 目 群	保育内容の研究・健康	3後	2								兼1
				保育内容の研究・人間関係	3後	2								兼1
				保育内容の研究・環境	3前	2				1				
保育内容の研究・言葉				3前	2								兼1	
保育内容の研究・表現A				3前	2		1							
保育内容の研究・表現B				3前	2								兼1	
幼児理解の理論と方法				3前	2		1							
教育課程論				2後	2				1					
初等国語科教育法				2前	2				1					
初等社会科教育法				2前	2				1					
算数科教育法				2前	2				1					
理科教育法	2後			2				1						
生活科教育法	2後			2				1						
音楽科教育法	3前			2								兼1		
図画工作科教育法	2前			2		1								
家庭科教育法	2後			2								兼1		
体育科教育法	2前	2								兼1				
外国語活動指導法	3前	2				1								
道徳教育指導法	2後	2				1								

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
				必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手			
専門科目目群	教育学系統	教育原理	1前	2				1					兼1	
		キリスト教教育論	1前		2								兼1	
		教育社会学	2前		2								兼1	
		学校と教育の歴史	2前		2								兼1	
		社会教育論A	2前		2								兼1	
		社会教育論B	2後		2								兼1	
		現代社会と社会教育A	2前		2		1						兼1	
	現代社会と社会教育B	2後		2		1								
	福祉・教育関連系統	社会福祉	1後		2								兼1	
		子ども家庭福祉	2前・後		2		1							
		保育原理	1後		2			1						
		社会的養護A	2前・後		2								兼1	
		社会的養護B	2前・後		1								兼1	
		乳児保育A	2前		2		1						兼1	
		乳児保育B	2後		1								兼1	
		子育て支援	2後		1								兼1	
		障害児保育A	2前		1			1					兼1	
		障害児保育B	2前		1								兼1	
		子どもの保健	2前後		2								兼2	
		子どもの健康と安全	2後		1								兼1	
		子ども家庭支援論	3前		2				1					
		子どもの食と栄養A	2前		1				1					
		子どもの食と栄養B	2後		1				1					
		教育関連科目	国語	1後		2					1			
			言葉の基礎	1前		2			2					
	社会		1前		2					1				
	算数		1後		2					1				
	理科		1前		2					1			兼1	
	生活		1前・後		2					1				
	家庭		1後		2					1			兼1	
	外国語		2前		2								兼1	
	図画工作		1後		2		1							
	造形表現基礎		1前		1		1							
	体育		1後		2								兼1	
	音楽		1前		2				1					
	音楽・器楽A		2前		1				1				兼5	
	音楽・器楽B		1後		1				1				兼6	
	音楽・実技A		1前		1				1				兼5	
	音楽・実技B		1後		1				1					
	音楽・合奏指導		1後		1								兼1	
	教師論		1後	2				1	1					
	保育・教職実践演習(幼)		4後		2		2	1						
	教職実践演習(小)		4後		2		1		2					
	教育・保育課程論		2後	2					1					
	保育内容総論		1前・後		2			1						
	子どもと健康		1前		1								兼1	
	子どもと人間関係		2前		1		1						兼1	
	子どもと環境		1前		1				1					
	子どもと言葉		1前		1		1		1					
	子どもと表現		1後		1		2							
	保育内容・健康		3後		2								兼1	
	保育内容・人間関係		3後		2								兼1	
	保育内容・環境		3前		2								兼1	
	保育内容・言葉		3前		2								兼1	
	保育内容・表現		3前		2		1							
	子ども理解の理論と方法		3前		2			1						
	初等外国語科教育法		2前		1			1						
	教育課程論		2前		2					1				
	初等国語科教育法		2前		2					1				
	初等社会科教育法		2後		2					1				
	算数科教育法		2前		2					1				
	理科教育法		2後		2					1				
	生活科教育法		2後		2					1				
	音楽科教育法		3前		2				1					
	図画工作科教育法		2後		2			1						
	家庭科教育法		2後		2								兼1	
	体育科教育法		2休		2								兼1	
	外国語指導法		3前		2			1						
	道徳教育指導法		2後		2					1			兼1	
総合的な学習の時間の指導法	2前		1								兼1			

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼任 ・ 兼担	
				必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手
専門科目群	教育関連科目	特別活動指導法	2前		2				1			
		教育方法論	2前	2					1			
		生徒指導論(進路指導を含む。)	2前		2				1			
		学校インターンシップ(基礎)	2前・後	1			1		2			
		学校インターンシップ	2前・後		2				2			
		幼稚園教育実習	4前		5		1					
		幼稚園教育実習(副)	4後		3			1				
		保育実習	3通		4					1		兼1
		保育実習指導	3通		2					1		兼1
		保育実習A	4前		2			1				
		保育実習B	4前		2							兼1
		保育実習指導A	4前		1			1				
		保育実習指導B	4前		1							兼1
		小学校教育実習	3後		5				3			
		介護等体験及び事前事後指導	2通		2		1					
		障害児教育総論	2前		2		1					兼1
		知的障害児の心理・生理・病理A	2前		2					1		兼2
		知的障害児の心理・生理・病理B	2後		2					1		兼2
		肢体不自由児の心理・生理・病理	2前		2							兼1
		病弱児の心理・生理・病理	3前		2							兼2
		情緒障害児の心理	3後		2							兼1
		知的障害児指導法	2後		2			1				
		病弱児指導法	3後		2							兼1
		障害幼児指導法	2後		2							兼1
		肢体不自由児指導法	2後		2					1		
		視覚障害児の教育総論	3前		2							兼1
	聴覚障害児の教育総論	3前		2							兼1	
	重複障害児の教育総論	3前		2							兼1	
	発達障害児の教育総論	2後		2							兼2	
	特別支援教育実習	4後		3			1		1	1		
	学校経営と学校図書館	2前		2							兼1	
	学校図書館メディアの構成	2後		2							兼1	
	学習指導と学校図書館	2後		2							兼1	
	読書と豊かな人間性	2前		2							兼1	
	情報メディアの活用	2後		2							兼1	
	演習科目	専門演習(児童学Ⅰ)	2後		1		1					
		専門演習(児童学Ⅱ)	3前		1		1					
		専門演習(キリスト教幼児教育Ⅰ)	2後		1			1				
		専門演習(キリスト教幼児教育Ⅱ)	3前		1			1				
		専門演習(造形教育論Ⅰ)	2後		1		1					
		専門演習(造形教育論Ⅱ)	3前		1		1					
		専門演習(音楽創造論Ⅰ)	2後		1			1				
		専門演習(音楽創造論Ⅱ)	3前		1			1				
		専門演習(保育実践論Ⅰ)	2後		1		1					
		専門演習(保育実践論Ⅱ)	3前		1		1					
		専門演習(異文化間教育Ⅰ)	2後		1			1				
専門演習(異文化間教育Ⅱ)		3前		1			1					
専門演習(教育文化論Ⅰ)		2後		1			1					
専門演習(教育文化論Ⅱ)		3前		1			1					
専門演習(生涯学習Ⅰ)		2後		1		1						
専門演習(生涯学習Ⅱ)		3前		1		1						
専門演習(教育心理学Ⅰ)		2後		1		1						
専門演習(教育心理学Ⅱ)		3前		1		1						
専門演習(児童文学Ⅰ)		2後		1		1						
専門演習(児童文学Ⅱ)		3前		1		1						
専門演習(社会科Ⅰ)	2後		1				1					
専門演習(社会科Ⅱ)	3前		1				1					
専門演習(栄養教育Ⅰ)	2後		1						1			
専門演習(栄養教育Ⅱ)	3前		1						1			

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手
専門科目群	教育関連科目	特別活動指導法	2前		1				1			
		教育方法論	2前・後	2					1			
		生徒指導論(進路指導を含む。)	2前		2		1					
		学校インターンシップ(基礎)	2前	1			1		2			
		学校インターンシップ	2休		2				2			
		幼稚園教育実習	4前		5		1					
		幼稚園教育実習(副)	4後		3			1				
		保育実習	3通		4			1				兼1
		保育実習指導	3通		2			1				兼1
		保育実習A	4前		2			1				
		保育実習B	4前		2							兼1
		保育実習指導A	4前		1			1				
		保育実習指導B	4前		1							兼1
		キリスト教と学校教育	2後		2		2					兼1
		小学校教育実習	3後		5				3			
		介護等体験及び事前事後指導	2通		2			1				兼1
		障害児教育総論	2前		2							兼1
		知的障害児の心理・生理・病理A	2休		2				1			兼2
		知的障害児の心理・生理・病理B	2休		2				1			兼2
		肢体不自由児の心理・生理・病理	2前		2							兼1
		病弱児の心理・生理・病理	3前		2							兼2
		情緒障害児の心理	3後		2							兼1
		知的障害児指導法	2後		2			1				
		病弱児指導法	3前		2							兼1
		障害幼児指導法	2前		2							兼1
		肢体不自由児指導法	2後		2				1			
		視覚障害児の教育総論	3前		2							兼1
		聴覚障害児の教育総論	3前		2							兼1
		重複障害児の教育総論	3前		2							兼1
		発達障害児の教育総論	2休		2							兼2
		特別支援教育実習	4後		3			1	1	1		
		学校経営と学校図書館	2前		2							兼1
		学校図書館メディアの構成	2後		2							兼1
	学習指導と学校図書館	2後		2							兼1	
	読書と豊かな人間性	2前		2							兼1	
	情報メディアの活用	2後		2							兼1	
	演習科目	専門演習Ⅰ(児童学)	2後		1		1					
		専門演習Ⅱ(児童学)	3前		1		1					
		専門演習Ⅰ(キリスト教幼児教育)	2後		1		1					
		専門演習Ⅱ(キリスト教幼児教育)	3前		1		1					
		専門演習Ⅰ(造形教育論)	2後		1		1					
		専門演習Ⅱ(造形教育論)	3前		1		1					
		専門演習Ⅰ(音楽創造論)	2後		1			1				
		専門演習Ⅱ(音楽創造論)	3前		1			1				
		専門演習Ⅰ(保育実践論)	2後		1		1					
		専門演習Ⅱ(保育実践論)	3前		1		1					
		専門演習Ⅰ(異文化間教育)	2後		1			1				
		専門演習Ⅱ(異文化間教育)	3前		1			1				
		専門演習Ⅰ(教育文化論)	2後		1			1				
		専門演習Ⅱ(教育文化論)	3前		1			1				
		専門演習Ⅰ(生涯学習)	2後		1		1					
		専門演習Ⅱ(生涯学習)	3前		1		1					
		専門演習Ⅰ(教育心理学)	2後		1		1					
		専門演習Ⅱ(教育心理学)	3前		1		1					
		専門演習Ⅰ(児童文学)	2後		1		1					
		専門演習Ⅱ(児童文学)	3前		1		1					
		専門演習Ⅰ(社会科)	2後		1				1			
専門演習Ⅱ(社会科)		3前		1				1				
専門演習Ⅰ(栄養教育)		2後		1				1				
専門演習Ⅱ(栄養教育)		3前		1				1				

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目群	演習科目	専門演習(特別支援教育論Ⅰ)	2後		1		1					
		専門演習(特別支援教育論Ⅱ)	3前		1		1					
		専門演習(障害児心理学Ⅰ)	2後		1					1		
		専門演習(障害児心理学Ⅱ)	3前		1					1		
		卒業研究(児童学Ⅰ)	3後		1		1					
		卒業研究(児童学Ⅱ)	4前		1		1					
		卒業研究(キリスト教幼児教育Ⅰ)	3後					1				
		卒業研究(キリスト教幼児教育Ⅱ)	4前		1			1				
		卒業研究(造形教育論Ⅰ)	3後		1		1					
		卒業研究(造形教育論Ⅱ)	4前		1		1					
		卒業研究(音楽創造論Ⅰ)	3後		1			1				
		卒業研究(音楽創造論Ⅱ)	4前		1			1				
		卒業研究(保育実践論Ⅰ)	3後		1		1					
		卒業研究(保育実践論Ⅱ)	4前		1		1					
		卒業研究(異文化間教育Ⅰ)	3後		1			1				
		卒業研究(異文化間教育Ⅱ)	4前		1			1				
		卒業研究(教育文化論Ⅰ)	3後		1			1				
		卒業研究(教育文化論Ⅱ)	4前		1			1				
		卒業研究(生涯学習Ⅰ)	3後		1		1					
		卒業研究(生涯学習Ⅱ)	4前		1		1					
		卒業研究(教育心理学Ⅰ)	3後		1		1					
		卒業研究(教育心理学Ⅱ)	4前		1		1					
		卒業研究(児童文学Ⅰ)	3後		1		1					
		卒業研究(児童文学Ⅱ)	4前		1		1					
		卒業研究(社会科Ⅰ)	3後		1				1			
		卒業研究(社会科Ⅱ)	4前		1				1			
		卒業研究(栄養教育Ⅰ)	3後		1						1	
		卒業研究(栄養教育Ⅱ)	4前		1						1	
		卒業研究(特別支援教育論Ⅰ)	3後		1		1					
		卒業研究(特別支援教育論Ⅱ)	4前		1		1					
		卒業研究(障害児心理学Ⅰ)	3後		1						1	
		卒業研究(障害児心理学Ⅱ)	4前		1						1	
		卒業論文	4後		6		7	4	1	2		
		小計(182科目)		—								
総合科目群	総合科目	経済学研究	3前		2							兼1
		企業財務論研究	3後		2							兼3
		まちづくり論研究	3前		2							兼1
		地域文化論	3前		2							兼1
		欧米文化学特論	4前		2							兼1
		日本思想特論	4後		2							兼1
		日本文化学研究	4前		4							兼1
		アメリカ文化学研究A	4前		4							兼1
		ヨーロッパ文化学研究B	4後		4							兼2
		キリスト教文化学研究A	4前		4							兼1
		児童教育学特論	4前		4			1				
		児童学特論	4後		4			1				
		高齢者福祉特論	4前		4							兼1
		児童福祉特論	4後		4							兼1
発達心理学特論	4前		4							兼1		
小計(15科目)		—										
合計(312科目)			—									
卒業要件及び履修方法												
基礎科目群より必修科目10単位、選択必修科目4単位、教養科目群より選択必修科目8単位、専門科目群より必修科目26単位、選択必修科目4単位、選択科目72単位を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位(年間))												

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門 科目 群	演習科目	専門演習Ⅰ(特別支援教育論)	2後		1		1					
		専門演習Ⅱ(特別支援教育論)	3前		1		1					
		専門演習Ⅰ(障害児心理学)	2後		1				1			
		専門演習Ⅱ(障害児心理学)	3前		1				1			
		卒業研究Ⅰ(児童学)	3後		1		1					
		卒業研究Ⅱ(児童学)	4前		1		1					
		卒業研究Ⅰ(キリスト教幼児教育)	3後		1		1					
		卒業研究Ⅱ(キリスト教幼児教育)	4前		1		1					
		卒業研究Ⅰ(造形教育論)	3後		1		1					
		卒業研究Ⅱ(造形教育論)	4前		1		1					
		卒業研究Ⅰ(音楽創造論)	3後		1			1				
		卒業研究Ⅱ(音楽創造論)	4前		1			1				
		卒業研究Ⅰ(保育実践論)	3後		1		1					
		卒業研究Ⅱ(保育実践論)	4前		1		1					
		卒業研究Ⅰ(異文化間教育)	3後		1			1				
		卒業研究Ⅱ(異文化間教育)	4前		1			1				
		卒業研究Ⅰ(教育文化論)	3後		1			1				
		卒業研究Ⅱ(教育文化論)	4前		1			1				
		卒業研究Ⅰ(生涯学習)	3後		1		1					
		卒業研究Ⅱ(生涯学習)	4前		1		1					
		卒業研究Ⅰ(教育心理学)	3後		1		1					
		卒業研究Ⅱ(教育心理学)	4前		1		1					
		卒業研究Ⅰ(児童文学)	3後		1		1					
		卒業研究Ⅱ(児童文学)	4前		1		1					
		卒業研究Ⅰ(社会科)	3後		1					1		
		卒業研究Ⅱ(社会科)	4前		1					1		
		卒業研究Ⅰ(栄養教育)	3後		1					1		
		卒業研究Ⅱ(栄養教育)	4前		1					1		
		卒業研究Ⅰ(特別支援教育論)	3後		1		1					
		卒業研究Ⅱ(特別支援教育論)	4前		1		1					
		卒業研究Ⅰ(障害児心理学)	3後		1					1		
		卒業研究Ⅱ(障害児心理学)	4前		1					1		
		卒業論文	4後		6			8	5	1		
		小計(189科目)		—								

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎 科目群	キリスト教概論A	1前	2						1		兼1
	キリスト教概論B	1後	2						1		兼1
	情報基礎	1前・後	2								兼2
	日本国憲法	1前・後		2							兼3
	アカデミックライティング	1後		1							兼1
	Special Lecture Series	2後		2							兼1
	ECA(Speaking) I	1前・後	2								兼5
	ECA(英語基礎表現)	1前・後	1								兼4
	ECA(Reading) I	1前・後	1								兼4
	ECA(Speaking) II	1前・後		2							兼2
	ECA(Reading) II	1前・後		1							兼1
	ECA(Cinema)A	1前・後		1							兼2
	ECA(Cinema)B	1前・後		1							兼2
	ECA(Culture)	2前・後		1							兼2
	ECA(English through Songs)A	1前		1							兼2
	ECA(English through Songs)B	1後		1							兼2
	ECA(Pleasure Reading)A	1前		1							兼1
	ECA(Pleasure Reading)B	1後		1							兼1
	ECA(Business)	2前・後		1							兼1
	ECA(English for Omotenashi)	1前・後		1							兼1
	ECA(Travel English)	1前・後		1							兼4
	ECA(Basic TOEIC)A	1前・後		1							兼2
	ECA(Basic TOEIC)B	1後		1							兼2
	ECA(Basic Grammar)	1前・後		1							兼2
	ECA(やり直しの発音)	1前・後		1							兼1
	ECA(Global Understanding)	1前・後		1							兼2
	ECA(留学生のための英語)	1前・後		1							兼1
	ECA(Advanced English)	1休		4							兼1
	ドイツ語 I	1前・後		2							兼2
	ドイツ語 II	1後		2							兼1
	フランス語 I	1前・後		2							兼3
	フランス語 II	1後		2							兼1
	スペイン語 I	1前・後		2							兼2
	スペイン語 II	1前・後		2							兼1
	イタリア語 I	1前・後		2							兼1
	イタリア語 II	1後		2							兼1
	中国語 I	1前・後		2							兼3
	中国語 II	1前・後		2							兼2
	韓国語 I	1前・後		2							兼2
	韓国語 II	1前・後		2							兼1
	日本語1(文字語彙)A	1前		2							兼2
	日本語1(文字語彙)B	1前		2							兼3
	日本語1(総合)A	1前		2							兼3
	日本語1(総合)B	1前		2							兼3
	日本語1(文章表現)	1前		2							兼3
	日本語1(口頭表現)	1前		1							兼3
	日本語1(応用漢字)	1前		1							兼3
	日本語1(文法)	1前		1							兼2
	日本語1(アカデミックスキル)	1後		1							兼3
	日本語1A	1後		1							兼1
	日本語1B	1後		1							兼1
	日本語1C	1後		1							兼1
	日本語1D	1後		2							兼1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
第二外国語Ⅱ	日本語2(文字語彙)A	1前・後		1							兼3
	日本語2(文字語彙)B	1前・後		1							兼5
	日本語2(文章表現)A	1前・後		1							兼5
	日本語2(文章表現)B	1前・後		1							兼6
	日本語2(口頭表現)	1前・後		1							兼5
	日本語2(試験対策)A	1前・後		1							兼3
	日本語2(試験対策)B	1前・後		1							兼3
	日本語2(日本語ICT)	1前・後		1							兼3
	アカデミックジャパニーズ	1後		2							兼3
	日本語3(文字語彙)A	1前・後		1							兼2
	日本語3(文字語彙)B	1前・後		1							兼2
	日本語3(文章表現)	1前・後		1							兼2
	日本語3(口頭表現)	1前・後		1							兼2
	日本語3(試験対策)	1前・後		1							兼2
	日本語4(文字語彙)A	1後		1							兼2
	日本語4(文字語彙)B	1後		1							兼2
	日本語4(文章表現)	1後		1							兼2
	日本語4(口頭表現)	1後		1							兼2
	日本語4(試験対策)	1後		1							兼2
基礎科目	スポーツ科目	健康・体力づくり実習A	1前	1							兼5
	健康・体力づくり実習B	1後		1							兼5
	生涯スポーツ実習A	1前		1							兼5
	生涯スポーツ実習B	1後		1							兼5
	体育(講義)	1後		1							兼1
	キリスト教関連科目	聖書の世界A	2前	2							兼1
	聖書の世界B	2後		2							兼1
	イングリッシュ・バイブルA	2前		2							兼1
	イングリッシュ・バイブルB	2後		2							兼1
	キリスト教と歴史形成A	2前		2							兼1
	キリスト教と歴史形成B	2後		2							兼1
	キリスト教思想史A	2前		2							兼1
	キリスト教思想史B	2後		2							兼1
	キリスト教と国際社会A	2前		2							兼1
	キリスト教と国際社会B	2後		2							兼1
	キリスト教と日本社会A	2前		2							兼1
	キリスト教と日本社会B	2後		2							兼1
	キリスト教とアメリカ文化A	2前		2							兼1
	キリスト教とアメリカ文化B	2後		2							兼1
	キリスト教とアジア文化A	2前		2							兼1
	キリスト教とアジア文化B	2後		2							兼1
	キリスト教と自然科学A	2前		2							兼1
	キリスト教と自然科学B	2後		2							兼1
	キリスト教と音楽A	2前		2							兼1
	キリスト教と音楽B	2後		2							兼1
	キリスト教音楽史A	2前		2							兼1
	キリスト教音楽史B	2後		2							兼1
	キリスト教と美術A	2前		2							兼1
	キリスト教と美術B	2後		2							兼1
	キリスト教と福祉活動の実践A	2前		2							兼1
	キリスト教と福祉活動の実践B	2後		2							兼1
	キリスト教カウンセリング論	2後		2							兼1
	キリスト教と心のケア	2前		2							兼1
キャリア教育科目	時事問題演習	1前		1							兼2
	図表理解	1後		1							兼2
	キャリアデザインA	2前		1							兼1
	キャリアデザインB	2後		1							兼1
	ビジネス・ライティング	2後		1							兼1
	ビジネス・コミュニケーション	2後		1							兼1
	ビジネス・プレゼンテーション	2後		1							兼1
	業界・企業研究	3前・後		1							兼2
	インターンシップⅠ(事前学習)	2後・3前		2							兼2
	インターンシップⅡ(実習)	3休		2							兼2
	インターンシップⅡ(留学生)	3休		2							兼1
	海外インターンシップA	1休		4							兼1
	海外インターンシップB	1休		4							兼1
	海外インターンシップC	1休		2							兼1
	海外インターンシップD	1休		1							兼1
	ビジネス日本語対策講座A	3前		1							兼1
	ビジネス日本語対策講座B	3後		1							兼1

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手
基礎 科目 群	地域学	地元学	1後		2							兼2
		宮原地域学	1前		2							兼1
		金石学	1前		2							兼3
	サービ スラー ニ ン グ	コミュニティサービスマーケティングⅠ	2前		2							兼1
		コミュニティサービスマーケティングⅡ	2休		2							兼1
		ボランティア活動の意義と実践	1前		2							兼1
		被災地支援・インターンシップA	1休		4							兼1
		被災地支援・インターンシップB	1休		2							兼1
		被災地支援・インターンシップC	1休		1							兼1
	海外研 修	アメリカ文化演習A	1休		4							兼1
		アメリカ文化演習B	1休		2							兼1
		オーストラリア文化演習	1休		4							兼1
カナダ文化演習		1休		4							兼1	
	海外文化演習	1休		4							兼1	
小計(136科目)		—										
教養 科目 群	人間理 解へ の基 盤を 学ぶ	哲学	1前・後		4							兼1
		欧米文学	1前・後		4							兼1
		言語学	1前・後		4							兼1
		文学	1前・後		4							兼2
		文化学	1前		4							兼1
		西洋史	1前・後		4							兼2
		日本史	1後		4							兼1
		比較言語文化論	1前		4							兼1
		異文化間コミュニケーション	1前		4							兼1
	社会理 解へ の基 盤を 学ぶ	政治学	1前・後		4							兼3
		経済学	1前・後		4							兼3
		法学	1前・後		4							兼2
		社会学	1前・後		4							兼1
		障害児(者)の理解と社会	1前・後		4	1						
		福祉環境学	1後		4							兼1
		社会福祉概論	1前		4							兼1
		情報と社会	1後		4							兼1
		現代社会	1前・後		4							兼1
	自然理 解へ の基 盤を 学ぶ	環境学	1前		4							兼1
		民俗環境論	1後		4							兼1
		職業人生と健康	1前		4							兼1
		教養としての数学	1前		4							兼1
		小計(22科目)		—								
専門 科目 群	共通基 本科目	キリスト教文化論A	3前	2			1					
		キリスト教文化論B	3後	2		1						
		児童学概論	1前	2		1						
		教職演習A	2前		1				1			
		教職演習B	2後		1				1			
		教職演習C	3前		1				1			
		教職演習D	3前		1		1					
		教職演習E	3前		1				1			
		教職演習F	3後		1				1			
		教職演習G	4前		1				1			
		教職演習(小学校英語A)	2後		1				1			
		教職演習(小学校英語B)	2後		1				1			
		児童学海外研修	1休		4			1				
	児童文 化系 統	児童文化論	1後	2			1	1				
		絵本文化論	1前		2			1				兼1
		児童文学	1後		2			1				
		英米児童文学	2前		4			1				
		ファンタジー論	1後		4			1				
		おもちゃ論	2前		2							兼1
	心理 学系 統	異文化間教育	2後		2				1			
		教育心理学	2前	1			1					
		発達心理学	1前・後	2								兼1
		教育相談(カウンセリングを含む。)	2後	2			1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目 目 群	教育 学 系 統	教育原理	1前	2			1				
		キリスト教保育論	1後	2							兼1
		教育社会学	2前	2							兼1
		学校と教育の歴史	2前	2							兼1
		社会教育論A	2前	2							兼1
		社会教育論B	2後	2							兼1
		現代社会と社会教育A	2前	2		1					
	福 祉 ・ 教 育 関 連 系 統	現代社会と社会教育B	2後	2		1					
		社会福祉	1後	2							兼1
		相談援助	2前・後	1							兼2
		児童家庭福祉	2前・後	2		1					
		保育原理	1前・後	2			1				
		社会的養護	2前・後	2							兼2
		乳児保育A	2前・後	1							兼1
		乳児保育B	2前・後	1							兼1
		社会的養護内容	2前・後	1							兼1
		保育相談支援	2前・後	1							兼1
		障害児保育A	2前・後	1					1		兼1
		障害児保育B	2前・後	1							兼1
		子どもの保健A	2前	2							兼1
		子どもの保健B	2前・後	2							兼2
		子どもの保健演習	2後	1							兼1
		家庭支援論	3前	2			1				
		子どもの食と栄養A	2前	1					1		
		子どもの食と栄養B	2後	1					1		
	教 育 関 連 科 目	国語	1後	2				1			
		言葉の基礎	1前	2		2					
		社会	1前	2				1			
		算数	1前・後	2				1			
		理科	1前	2				1			兼1
		生活	1前・後	2				1			
		家庭	1後	2					1		兼1
		外国語	2前	2							兼1
		図画工作A	1前	1		1					
		図画工作B	1後	1		1					
		体育A	1前	1							兼1
		体育B	1後	1							兼1
		音楽A	1前	1			1				兼5
		音楽B	1後	1			1				
		音楽・器楽A	2前	1			1				兼5
		音楽・器楽B	1後	1			1				兼5
		音楽・実技A	1前	1			1				兼5
		音楽・実技B	1後	1			1				兼4
		音楽・合奏指導	1後	1							兼1
		教師論	1後	2			1	1			
		保育実践演習A	2前・後	1		1					
		保育実践演習B	2前・後	1				1			
		教職実践演習(幼・小)	4後	2		4	2	5	1		
		教育・保育課程論	2後	2			1				
		保育内容総論	1前・後	2		1					
		保育内容の研究・健康	3後	2							兼1
		保育内容の研究・人間関係	3後	2							兼1
		保育内容の研究・環境	3前	2				1			
		保育内容の研究・言葉	3前	2							兼1
		保育内容の研究・表現A	3前	2		1					
		保育内容の研究・表現B	3前	2							兼1
		幼児理解の理論と方法	3前	2		1					
		教育課程論	2後	2				1			
		初等国語科教育法	2前	2				1			
		初等社会科教育法	2前	2				1			
		算数科教育法	2前	2				1			
		理科教育法	2後	2				1			
		生活科教育法	2後	2				1			
		音楽科教育法	3前	2			1				
		図画工作科教育法	2前	2		1					
		家庭科教育法	2後	2							兼1
		体育科教育法	2前	2							兼1
		外国語活動指導法	3前	2				1			
		道徳教育指導法	2後	2				1			兼1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目 群	特別活動指導法	2前		2				1			
	教育方法論	2前	2					1			
	生徒指導法(進路指導を含む。)	2前		2				1			
	学校インターンシップ(基礎)	2前・後	1			1		2			
	学校インターンシップ	2前・後		2				2			
	幼稚園教育実習	4前		5		1					
	幼稚園教育実習(副)	4後		3			1				
	保育実習	3通		4					1		兼1
	保育実習指導	3通		2					1		兼1
	保育実習A	4前		2			1				
	保育実習B	4前		2							兼1
	保育実習指導A	4前		1			1				
	保育実習指導B	4前		1							兼1
	キリスト教と学校教育	2前		2		2					兼1
	小学校教育実習	3後		5				3			
	介護等体験及び事前事後指導	2通		2		1					
	障害児教育総論	2前		2		1					兼1
	知的障害児の心理・生理・病理A	2前		2					1		兼2
	知的障害児の心理・生理・病理B	2後		2					1		兼2
	肢体不自由児の心理・生理・病理	2前		2							兼1
	病弱児の心理・生理・病理	3前		2							兼2
	情緒障害児の心理	3後		2							兼1
	知的障害児指導法	2後		2		1					
	病弱児指導法	3後		2							兼1
	障害幼児指導法	2後		2							兼1
	肢体不自由児指導法	2後		2				1			
	視覚障害児の教育総論	3前		2							兼1
	聴覚障害児の教育総論	3前		2							兼1
	重複障害児の教育総論	3前		2							兼1
	発達障害児の教育総論	2後		2							兼2
	特別支援教育実習	4後		3		1		1	1		
	学校経営と学校図書館	2前		2							兼1
	学校図書館メディアの構成	2後		2							兼1
	学習指導と学校図書館	2後		2							兼1
	読書と豊かな人間性	2前		2							兼1
	情報メディアの活用	2後		2							兼1
	専門演習(児童学Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(児童学Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(キリスト教幼児教育Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(キリスト教幼児教育Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(造形教育論Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(造形教育論Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(音楽創造論Ⅰ)	2後		1			1				
	専門演習(音楽創造論Ⅱ)	3前		1			1				
	専門演習(保育実践論Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(保育実践論Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(異文化間教育Ⅰ)	2後		1			1				
	専門演習(異文化間教育Ⅱ)	3前		1			1				
	専門演習(教育文化論Ⅰ)	2後		1			1				
	専門演習(教育文化論Ⅱ)	3前		1			1				
	専門演習(生涯学習Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(生涯学習Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(教育心理学Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(教育心理学Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(児童文学Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(児童文学Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(社会科Ⅰ)	2後		1				1			
	専門演習(社会科Ⅱ)	3前		1				1			
	専門演習(栄養教育Ⅰ)	2後		1					1		
	専門演習(栄養教育Ⅱ)	3前		1					1		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目 群	専門演習(特別支援教育論Ⅰ)	2後		1		1					
	専門演習(特別支援教育論Ⅱ)	3前		1		1					
	専門演習(障害児心理学Ⅰ)	2後		1					1		
	専門演習(障害児心理学Ⅱ)	3前		1					1		
	卒業研究(児童学Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(児童学Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(キリスト教幼児教育Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(キリスト教幼児教育Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(造形教育論Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(造形教育論Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(音楽創造論Ⅰ)	3後		1			1				
	卒業研究(音楽創造論Ⅱ)	4前		1			1				
	卒業研究(保育実践論Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(保育実践論Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(異文化間教育Ⅰ)	3後		1			1				
	卒業研究(異文化間教育Ⅱ)	4前		1			1				
	卒業研究(教育文化論Ⅰ)	3後		1			1				
	卒業研究(教育文化論Ⅱ)	4前		1			1				
	卒業研究(生涯学習Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(生涯学習Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(教育心理学Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(教育心理学Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(児童文学Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(児童文学Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(社会科Ⅰ)	3後		1				1			
	卒業研究(社会科Ⅱ)	4前		1				1			
	卒業研究(栄養教育Ⅰ)	3後		1					1		
	卒業研究(栄養教育Ⅱ)	4前		1					1		
	卒業研究(特別支援教育論Ⅰ)	3後		1		1					
	卒業研究(特別支援教育論Ⅱ)	4前		1		1					
	卒業研究(障害児心理学Ⅰ)	3後		1					1		
	卒業研究(障害児心理学Ⅱ)	4前		1					1		
	卒業論文	4後		6		8	3	1	2		
小計(185科目)		—									
小計(0科目)		—									
合計(343科目)		—									
卒業要件及び履修方法											
基礎科目群より必修科目10単位、選択必修科目4単位、教養科目群より選択必修科目8単位、専門科目群より必修科目26単位、選択必修科目4単位、選択科目72単位を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位(年間))											

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

教育課程の見直しにより、「日本国憲法」の科目区分を「その他」から「基礎科目」に変更
教育課程の見直しにより、「アカデミックライティング」を新設
教育課程の見直しにより、「Special Lecture Series」の科目区分を「その他」から「基礎科目」に変更
大学全体の入学人数増加によるクラス増設のため、「ECA(Speaking)Ⅰ」の教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更
大学全体の履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(Speaking)Ⅱ」の配当年次を「1後」から「1前・後」に、教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
大学全体の入学人数増加によるクラス増設のため、「ECA(Reading)Ⅱ」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更
教育課程の見直しにより、「ECA(Cinema)Ⅰ」の科目名称を「ECA(Cinema)A」に変更
教育課程の見直しにより、「ECA(Cinema)Ⅱ」の科目名称を「ECA(Cinema)B」に変更
大学全体の履修者数増加によるクラス増加のため、「ECA(English through Songs)A」の教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
担当者のコマ数調整のため、「ECA(Business)」の教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更
大学全体の履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(Travel English)」の教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更
大学全体の履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(Basic TOEIC)A」の配当年次を「1前」から「1前・後」に、教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
大学全体の履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(Basic TOEIC)B」の教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
大学全体の履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(Basic Grammar)」の配当年次を「1前」から「1前・後」に、教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
大学全体の履修者数増加によるクラス増設のため、「ECA(Global Understanding)」の教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
教育課程の見直しにより、「ECA(留学生のための英語)」を新設
教育課程の見直しにより、「ECA(Advanced English)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(文字語彙)A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(文字語彙)B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(総合)A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(総合)B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(文章表現)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(口頭表現)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(応用漢字)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(文法)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1(アカデミックスキル)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1C」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語1D」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語2(文字語彙)A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語2(文字語彙)B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語2(文章表現)A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語2(文章表現)B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語2(口頭表現)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語2(試験対策)A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語2(試験対策)B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語2(日本語ICT)」を新設
教育課程の見直しにより、「アカデミックジャパニーズ」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語3(文字語彙)A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語3(文字語彙)B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語3(文章表現)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語3(口頭表現)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語3(試験対策)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語4(文字語彙)A」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語4(文字語彙)B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語4(文章表現)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語4(口頭表現)」を新設
教育課程の見直しにより、「日本語4(試験対策)」を新設
兼任、兼任講師辞退により、「生涯スポーツ実習A」の教員等の配置を「兼7」から「兼5」に変更
兼任、兼任講師辞退により、「生涯スポーツ実習B」の教員等の配置を「兼7」から「兼5」に変更
教育課程の見直しにより、「キリスト教とアメリカ文化A」を新設
教育課程の見直しにより、「キリスト教とアメリカ文化B」を新設
教育課程の見直しにより、「インターンシップII(留学生)」を新設
教育課程の見直しにより、「ビジネス日本語対策講座A」を新設
教育課程の見直しにより、「ビジネス日本語対策講座B」を新設
教育課程の見直しにより、「日本国憲法」の科目区分を「その他」から「基礎科目」に変更
教育課程の見直しにより、「Special Lecture Series」の科目区分を「その他」から「基礎科目」に変更
教育課程の見直しにより、「地元学」の科目区分を「その他」から「地域学」に変更し開講期を「1前」から「1後」に変更
教育課程の見直しにより、「宮原地域学」の科目区分を「その他」から「地域学」に変更
教育課程の見直しにより、「釜石学」の科目区分を「その他」から「地域学」に変更
教育課程の充実のため、「釜石学」の教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更
教育課程の見直しにより、「コミュニティサービスラーニングⅠ」の科目区分を「その他」から「サービスラーニング」に変更
教育課程の見直しにより、「コミュニティサービスラーニングⅡ」の科目区分を「その他」から「サービスラーニング」に変更し、開講期を「2後」から「2休」に変更
教育課程の見直しにより、「被災地支援・インターンシップA」の科目区分を「その他」から「サービスラーニング」に変更
教育課程の見直しにより、「被災地支援・インターンシップB」の科目区分を「その他」から「サービスラーニング」に変更
教育課程の見直しにより、「被災地支援・インターンシップC」の科目区分を「その他」から「サービスラーニング」に変更
教育課程の見直しにより、「ボランティア体験の言語化技法と実践」を新設
教育課程の見直しにより、「アメリカ文化演習A」の科目区分を「その他」から「海外研修」に変更
教育課程の見直しにより、「アメリカ文化演習B」の科目区分を「その他」から「海外研修」に変更

教育課程の見直しにより、「オーストラリア文化演習」の科目区分を「その他」から「海外研修」に変更
 教育課程の見直しにより、「カナダ文化演習」の科目区分を「その他」から「海外研修」に変更
 教育課程の見直しにより、「海外文化演習」を新設
 教育課程の見直しにより、「西洋史」の教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更
 教育課程の見直しにより、「比較言語文化論」を新設
 教育課程の見直しにより、「現代社会」を新設
 教育課程の見直しにより、「民俗環境論」の開講期を「1前・後」から「1後」に変更
 担当教員昇任により、「キリスト教文化論A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
 担当教員昇任により、「キリスト教文化論B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
 教育課程の見直しにより、「言葉の基礎」の科目区分を「共通基本科目」から「教育関連科目」に変更
 教育課程の見直しにより、「児童文学」の開講期を「1前・後」から「1後」に変更
 教育課程の見直しにより、「英米児童文学」の開講期を「1前」から「2前」に変更
 教育課程の見直しにより、「発達心理学」の開講期を「1後」から「1前・後」に変更
 専任教員の担当科目調整により、「社会教育論A」の専任教員等の配置を「教授1」から兼任・兼任「兼1」に変更
 専任教員の担当科目調整により、「社会教育論B」の専任教員等の配置を「教授1」から兼任・兼任「兼1」に変更
 教育課程の見直しにより、「言葉の基礎」の「共通基本科目」から「教育関連科目」に移動
 教育課程の見直しにより、「社会」の開講期を「1後」から「1前」に変更
 教育課程の見直しにより、「算数」の開講期を「1後」から「1前・後」に変更
 教育課程充実のため、「理科」の担当者を追加
 教育課程の見直しにより、「生活」の開講期を「1前」から「1前・後」に変更
 教育課程充実のため、「音楽A」の担当者を追加
 教育課程の充実を図るため、「音楽・実技A」を追加
 教育課程の充実を図るため、「音楽・実技B」を追加
 教育課程の見直しにより、「音楽・合奏指導」の配当年次を「1前」から「1後」に変更
 教育課程の見直しにより、「教師論」の開講期を「1前」から「1後」に変更
 教育課程の見直しにより、「教職実践演習(幼・小)」の専任教員等の配置を「講師4」から「講師5」に変更
 教育課程の見直しにより、「音楽科教育法」の教員配置を「兼1」から「准教授1」に変更
 教育課程の見直しにより、「道德教育指導法」の教員配置を「講師1」から「講師1・兼1」に変更
 教育課程の充実を図るため、「キリスト教と学校教育」を新設
 担当教員昇任により、「専門演習(キリスト教幼児教育Ⅰ)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
 担当教員昇任により、「専門演習(キリスト教幼児教育Ⅱ)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
 担当教員昇任により、「卒業研究(キリスト教幼児教育Ⅰ)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
 担当教員昇任により、「卒業研究(キリスト教幼児教育Ⅱ)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
 担当教員昇任により、「卒業論文」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」、「准教授4」から「准教授3」に変更。また記載間違いのため「助手0」を削除。

【令和元年度】

教育課程の見直しにより、「キリスト教と文学A」を新設
 教育課程の見直しにより、「キリスト教と文学B」を新設
 教育課程の見直しにより、「インターンシップ(企業研修型)」を新設
 教育課程の見直しにより、「インターンシップ(PBL型)」を新設
 教育課程の見直しにより、「地域活動実習A」を新設
 教育課程の見直しにより、「地域活動実習B」を新設
 教育課程の見直しにより、「地域活動実習C」を新設
 教育課程の見直しにより、「生命倫理学」を新設
 教育課程の見直しにより、「リハビリテーション入門」を新設
 教育課程の見直しにより、「教職演習(小学校英語A)」の開講期を「2後」から「2前」に変更
 担当教員昇任により、「教職演習(小学校英語A)」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更
 担当教員昇任により、「教職演習(小学校英語B)」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更
 教育課程の見直しにより、「絵本文化論」の開講期を「1前」から「1後」に変更
 教育課程の見直しにより、「英米児童文学」の開講期を「2前」から「1前」に変更
 教育課程の充実を図るため、「Smile English(幼児のための英語)」を追加
 教育課程の充実を図るため、「芸術と文化(西洋音楽)」を追加
 教育課程の見直しにより、「教育心理学」の開講期を「2前」から「2前・後」に変更
 児童福祉法施行規則改正により、「教育心理学」の単位数を「1」単位から「2」単位に変更
 児童福祉法施行規則改正により、「子ども家庭支援の心理学」を追加
 教育課程の見直しにより、「教育相談(カウンセリングを含む。)」の開講期を「2後」から「2前・後」に変更
 教育課程の見直しにより、「キリスト教保育論」の開講期を「1後」から「1前」に変更
 児童福祉法施行規則改正により、「児童家庭福祉」を「子ども家庭福祉」に名称変更
 教育課程の見直しにより、「保育原理」の開講期を「1前・後」から「1後」に変更
 児童福祉法施行規則改正により、「社会的養護」を「社会的養護A」に名称変更
 兼任講師辞任により、「社会的養護A」の教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更
 児童福祉法施行規則改正により、「社会的養護内容」を「社会的養護B」に名称変更し、単位数を「2」から「1」単位に変更
 児童福祉法施行規則改正により、「乳児保育A」の単位数を「1」単位から「2」単位に変更
 教育課程の見直しにより、「乳児保育A」の開講期を「2前・後」から「2前」に変更
 教育課程の見直しにより、「乳児保育B」の開講期を「2前・後」から「2後」に変更
 児童福祉法施行規則改正により、「子育て支援」を追加
 教育課程の見直しにより、「障害児保育A」の開講期を「2前・後」から「2前」に変更
 担当教員昇任により、「障害児保育A」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更
 教育課程の見直しにより、「障害児保育B」の開講期を「2前・後」から「2前」に変更
 児童福祉法施行規則改正により、「子どもの保健A」を「子どもの保健」に名称変更
 教育課程の見直しにより、「子どもの保健」の開講期を「2前」から「2前・後」に変更
 担当者変更により、「子どもの保健」の教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
 児童福祉法施行規則改正により、「子どもの保健演習」を「子どもの健康と安全」に名称変更
 児童福祉法施行規則改正により、「家庭支援論」を「子ども家庭支援論」に名称変更
 担当教員昇任により、「子どもの食と栄養A」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更

担当教員昇任により、「子どもの食と栄養B」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更
 教育課程の見直しにより、「社会」の開講期を「1後」から「1前」に変更
 教育課程の見直しにより、「生活」の開講期を「1前」から「1前・後」に変更
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「図画工作A」「図画工作B」を統合し、「図画工作」に変更
 教育課程の見直しにより、「造形表現基礎」を追加
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「体育A」「体育B」を統合し、「体育」に変更
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「音楽A」「音楽B」を統合し、「音楽」に変更
 兼任教員の担当コマ数調整により、「音楽・器楽B」の教員等の配置を「兼5」から「兼6」に変更
 教育課程の見直しにより、「音楽・実技B」の教員等の配置を「准教授1」のみに変更
 担当教員昇任により、「教師論」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「教職実践演習(幼・小)」を分割し、「保育・教職実践演習(幼)」「教職実践演習(小)」に変更
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「保育・教職実践演習(幼)」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」に変更
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「子どもと健康」を追加
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「子どもと人間関係」を追加
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「子どもと環境」を追加
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「子どもと言葉」を追加
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「子どもと表現」を追加
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「保育内容の研究・健康」を「保育内容・健康」に名称変更
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「保育内容の研究・人間関係」を「保育内容・人間関係」に名称変更
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「保育内容の研究・環境」を「保育内容・環境」に名称変更
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「保育内容の研究・言葉」を「保育内容・言葉」に名称変更
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「保育内容の研究・表現A」を「保育内容・表現」に名称変更
 児童福祉法施行規則改正により、「幼児理解の理論と方法」を「子ども理解の理論と方法」に名称変更
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援」を追加
 教育課程の見直しにより、「教育課程論」の開講期を「2後」から「2前」に変更
 教育課程の見直しにより、「初等社会科教育法」の開講期を「2前」から「2後」に変更
 教育課程の見直しにより、「図画工作科教育法」の開講期を「2前」から「2後」に変更
 教育課程の見直しにより、「体育科教育法」の開講期を「2前」から「2休」に変更
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「外国語活動指導法」を「外国語指導法」に名称変更
 担当教員昇任により、「外国語指導法」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「総合的な学習の時間の指導法」を追加
 再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「特別活動指導法」の単位数を「2」から「1」単位に変更
 教育課程の見直しにより、「教育方法論」の開講期を「2前」から「2前・後」に変更
 担当教員昇任により、「生徒指導論(進路指導を含む。)」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更
 教育課程の見直しにより、「学校インターンシップ(基礎)」の開講期を「2前・後」から「2前」に変更
 教育課程の見直しにより、「学校インターンシップ」の開講期を「2前・後」から「2休」に変更
 担当教員昇任により、「保育実習」の専任教員等の配置を「助教1」「兼1」から「准教授1」「兼1」に変更
 担当教員昇任により、「保育実習指導」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更
 教育課程の見直しにより、「キリスト教と学校教育」の開講期を「2前」から「2後」に変更
 担当教員昇任により、「知的障害児の心理・生理・病理A」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更
 担当教員昇任により、「知的障害児の心理・生理・病理B」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更
 教育課程の見直しにより、「知的障害児の心理・生理・病理A」の開講期を「2前」から「2休」に変更
 教育課程の見直しにより、「知的障害児の心理・生理・病理B」の開講期を「2後」から「2休」に変更
 教育課程の見直しにより、「障害幼児指導法」の開講期を「2後」から「2前」に変更
 教育課程の見直しにより、「発達障害児の教育総論」の開講期を「2後」から「2休」に変更
 担当教員昇任により、「特別支援教育実習」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(児童学Ⅰ)」を「専門演習Ⅰ(児童学)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(児童学Ⅱ)」を「専門演習Ⅱ(児童学)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(キリスト教幼児教育Ⅰ)」を「専門演習Ⅰ(キリスト教幼児教育)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(キリスト教幼児教育Ⅱ)」を「専門演習Ⅱ(キリスト教幼児教育)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(造形教育論Ⅰ)」を「専門演習Ⅰ(造形教育論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(造形教育論Ⅱ)」を「専門演習Ⅱ(造形教育論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(音楽創造論Ⅰ)」を「専門演習Ⅰ(音楽創造論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(音楽創造論Ⅱ)」を「専門演習Ⅱ(音楽創造論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(保育実践論Ⅰ)」を「専門演習Ⅰ(保育実践論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(保育実践論Ⅱ)」を「専門演習Ⅱ(保育実践論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(異文化間教育Ⅰ)」を「専門演習Ⅰ(異文化間教育)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(異文化間教育Ⅱ)」を「専門演習Ⅱ(異文化間教育)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(教育文化論Ⅰ)」を「専門演習Ⅰ(教育文化論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(教育文化論Ⅱ)」を「専門演習Ⅱ(教育文化論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(生涯学習Ⅰ)」を「専門演習Ⅰ(生涯学習)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(生涯学習Ⅱ)」を「専門演習Ⅱ(生涯学習)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(教育心理学Ⅰ)」を「専門演習Ⅰ(教育心理学)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(教育心理学Ⅱ)」を「専門演習Ⅱ(教育心理学)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(児童文学Ⅰ)」を「専門演習Ⅰ(児童文学)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(児童文学Ⅱ)」を「専門演習Ⅱ(児童文学)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(社会科Ⅰ)」を「専門演習Ⅰ(社会科)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(社会科Ⅱ)」を「専門演習Ⅱ(社会科)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(栄養教育Ⅰ)」を「専門演習Ⅰ(栄養教育)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(栄養教育Ⅱ)」を「専門演習Ⅱ(栄養教育)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(特別支援教育論Ⅰ)」を「専門演習Ⅰ(特別支援教育論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(特別支援教育論Ⅱ)」を「専門演習Ⅱ(特別支援教育論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(障害児心理学Ⅰ)」を「専門演習Ⅰ(障害児心理学)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「専門演習(障害児心理学Ⅱ)」を「専門演習Ⅱ(障害児心理学)」に名称変更

ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(児童学Ⅰ)」を「卒業研究Ⅰ(児童学)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(児童学Ⅱ)」を「卒業研究Ⅱ(児童学)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(キリスト教幼児教育Ⅰ)」を「卒業研究Ⅰ(キリスト教幼児教育)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(キリスト教幼児教育Ⅱ)」を「卒業研究Ⅱ(キリスト教幼児教育)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(造形教育論Ⅰ)」を「卒業研究Ⅰ(造形教育論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(造形教育論Ⅱ)」を「卒業研究Ⅱ(造形教育論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(音楽創造論Ⅰ)」を「卒業研究Ⅰ(音楽創造論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(音楽創造論Ⅱ)」を「卒業研究Ⅱ(音楽創造論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(保育実践論Ⅰ)」を「卒業研究Ⅰ(保育実践論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(保育実践論Ⅱ)」を「卒業研究Ⅱ(保育実践論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(異文化間教育Ⅰ)」を「卒業研究Ⅰ(異文化間教育)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(異文化間教育Ⅱ)」を「卒業研究Ⅱ(異文化間教育)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(教育文化論Ⅰ)」を「卒業研究Ⅰ(教育文化論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(教育文化論Ⅱ)」を「卒業研究Ⅱ(教育文化論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(生涯学習Ⅰ)」を「卒業研究Ⅰ(生涯学習)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(生涯学習Ⅱ)」を「卒業研究Ⅱ(生涯学習)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(教育心理学Ⅰ)」を「卒業研究Ⅰ(教育心理学)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(教育心理学Ⅱ)」を「卒業研究Ⅱ(教育心理学)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(児童文学Ⅰ)」を「卒業研究Ⅰ(児童文学)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(児童文学Ⅱ)」を「卒業研究Ⅱ(児童文学)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(社会科Ⅰ)」を「卒業研究Ⅰ(社会科)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(社会科Ⅱ)」を「卒業研究Ⅱ(社会科)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(栄養教育Ⅰ)」を「卒業研究Ⅰ(栄養教育)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(栄養教育Ⅱ)」を「卒業研究Ⅱ(栄養教育)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(特別支援教育論Ⅰ)」を「卒業研究Ⅰ(特別支援教育論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(特別支援教育論Ⅱ)」を「卒業研究Ⅱ(特別支援教育論)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(障害児心理学Ⅰ)」を「卒業研究Ⅰ(障害児心理学)」に名称変更
 ゼミ科目名表記を全学科統一したため、「卒業研究(障害児心理学Ⅱ)」を「卒業研究Ⅱ(障害児心理学)」に名称変更
 担当教員昇任により、「卒業論文」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授5」に変更、「助教2」を削除

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	292 科目	0 科目	312 科目	20 科目 [0]	332 科目 [41]	0 科目 [0]	352 科目 [41]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	ECA (Cinema) III	1	2前	一般	選択	教育課程の見直しによる廃止。
2	経済学研究	2	3前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
3	企業財務論研究	2	3後	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
4	まちづくり論研究	2	3前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
5	地域文化論	2	3前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
6	欧米文化学特論	2	4前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
7	日本思想特論	2	4後	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
8	日本文化学研究	4	4前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
9	アメリカ文化学研究A	4	4前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
10	ヨーロッパ文化学研究B	4	4後	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
11	キリスト教文化学研究A	4	4前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
12	児童教育学特論	4	4前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
13	児童学特論	4	4後	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
14	高齢者福祉特論	4	4前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
15	児童福祉特論	4	4後	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
16	発達心理学特論	4	4前	専門	選択	学部・大学院連携のための新制度導入に伴い、本科目が属する「総合科目群」が統合されたため。
17	インターンシップI (事前学習)	2	2後・3前	一般	選択	教育課程の見直しによる廃止。

18	インターンシップⅡ（実習）	2	3休	一般	選択	教育課程の見直しによる廃止。
19	インターンシップⅡ（留学生）	2	3休	一般	選択	教育課程の見直しによる廃止。
20	異文化間コミュニケーション	4	1前	一般	選択	教育課程の見直しによる廃止。
21	相談援助	1	2前・後	専門	選択	児童福祉法施行規則改正のため。
22	保育相談支援	1	2前・後	専門	選択	児童福祉法施行規則改正のため。
23	子どもの保健B	2	2前・後	専門	選択	児童福祉法施行規則改正のため。
24	保育実践演習A	1	2前・後	専門	選択	児童福祉法施行規則改正のため。
25	保育実践演習B	1	2前・後	専門	選択	児童福祉法施行規則改正のため。
26	図画工作B	1	1後	専門	選択	再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「図画工作A」「図画工作B」を統合し、「図画工作」に変更したため。
27	体育B	1	1後	専門	選択	再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「体育A」「体育B」を統合し、「体育」に変更したため。
28	音楽B	1	1後	専門	選択	再課程認定申請に伴う教育課程の見直しにより、「音楽A」「音楽B」を統合し、「音楽」に変更したため。
29	保育内容の研究・表現B	2	3前	専門	選択	再課程認定申請に伴う教育課程の見直しのため。

- （注）
- ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

●教育課程の見直しにより、「ECA(Cinema)Ⅲ」を廃止とした。

●大学院科目受講に係る新制度の導入により、大学院への接続を念頭に置いた発展的な科目群である「総合科目群」が統合された。よって、同科目群開設科目である以下15科目を廃止とした。
「経済学研究」「企業財務論研究」「まちづくり論研究」「地域文化論」「欧米文化学特論」「日本思想特論」「日本文化学研究」「アメリカ文化学研究A」「ヨーロッパ文化学研究B」「キリスト教文化学研究A」「児童教育学特論」「児童学特論」「高齢者福祉特論」「児童福祉特論」「発達心理学特論」

以上の変更については、学生要覧、ガイダンス、個別履修指導で学生に周知した。

●教育課程の見直しにより、下記4科目を廃止とした。
「インターンシップⅠ（事前学習）」「インターンシップⅡ（実習）」「インターンシップⅡ（留学生）」「異文化間コミュニケーション」

●児童福祉法施行規則改正のため、下記5科目を廃止とした。
「相談援助」「保育相談支援」「子どもの保健B」「保育実践演習A」「保育実践演習B」

●再課程認定申請に伴う教育課程の見直しのため、下記4科目を廃止とした。
「図画工作B」「体育B」「音楽B」「保育内容の研究・表現B」

以上の変更については、学生要覧、ガイダンス、個別履修指導で学生に周知した。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	=	29	=	9.29%
設置時の計画の授業科目数の計(A)		312		

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積： 7,042㎡ 借用期間：20年			
	校 舎 敷 地	34,076㎡	－㎡	－㎡	34,076㎡				
	運動場用地	26,241㎡	－㎡	－㎡	26,241㎡				
	小 計	60,317㎡	－㎡	－㎡	60,317㎡				
	そ の 他	1,996㎡	－㎡	－㎡	1,996㎡				
	合 計	62,313㎡	－㎡	－㎡	62,313㎡				
(2)校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	守衛室を校舎に計上の ため (30)				
	20,410 20,385 ㎡ 20,410 (20,385 ㎡)	－㎡ (ー㎡)	－㎡ (ー㎡)	20,410 20,385 ㎡ 20,410 (20,385 ㎡)					
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 平成30年4月演習室を研究室に更 変のため (30) 平成31年4月図書館AL室を演習室 に計上のため(元)		
		28室	33 30 34 室	12室	4室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0 人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		平成30年4月 研究室体制見直しのため (30)		
		人文学部 児童学科			19 20 室				
(5)図書・設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数 (元)	
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点						
	〇〇学部	321,197 [65,761] 309,864 [65,791] (307,308 [65,694])	2,845 [2,450] 2,828 [2,455] (2,838 [2,455])	2,400 [2,400] 2,468 [2,429] (2,464 [2,427])	3,318 3202 (3,222)	123 (123)	10 (10)		
計	321,197 [65,761] 309,864 [65,791] (307,308 [65,694])	2,845 [2,450] 2,828 [2,455] (2,838 [2,455])	2,400 [2,400] 2,468 [2,429] (2,464 [2,427])	3,318 3202 (3,222)	123 (123)	10 (10)			
(6)図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 平成31年3月 什器入替のため(元)		
	2,420 ㎡		303 318		224,000				
(7)体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	1,578㎡		－						
(8)経費の見積り 及び 維持方法 の 概 要	経費の 見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子 ジャーナル・データベースの整 備費等を含む。
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	2,250千円 2,110千円	1,720千円 1,850千円	1910千円	
		共 同 研 究 費 等	－千円	－千円	設備購入費	7,250千円 4,220千円	7,500千円 3,680千円	3,790千円	
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	平成30年度 実績額による(元)。 平成29年度 実績額による(30)。	
		1,310千円	1,030千円	1,050千円	1,070千円	－千円	－千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入他						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	聖 学 院 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
政治経済学部					-	1.22				平成25年学生募集停止
政治経済学科	4	160	-	640	学士 (政治経済学)	1.22		昭和63	埼玉県上尾市戸崎1番1号	
コミュニティ政策学科	4	-	-	-	学士 (コミュニティ政策学)	-		平成12	同上	
人文学部					-	0.96				
欧米文化学科	4	80	-	320	学士 (欧米文化学)	0.89		平成4	同上	
日本文化学科	4	80	-	320	学士 (日本文化学)	1.18		平成10	同上	
児童学科	4	100	-	400	学士 (児童学)	0.92		平成30	同上	
心理福祉学部					-	1.15				
心理福祉学科	4	120	3年次 20	520	学士 (心理福祉学)	1.15		平成30	同上	
人間福祉学部					-					
児童学科	4	-	-	-	学士 (児童学)	-		平成16	同上	平成29年学生募集停止 平成29年学生募集停止 平成29年学生募集停止
こども心理学科	4	-	-	-	学士 (心児・児童福祉学)	-		平成24	同上	
人間福祉学科	4	-	-	-	学士 (人間福祉学)	-		平成16	同上	
大学全体	4	540	3年次 20	2200	-	1.07	-	-	-	
大 学 の 名 称	聖 学 院 大 学 大 学 院									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍				
政治政策学研究科					-	1.25				埼玉県上尾市戸崎1番1号
政治政策学専攻	2	10	-	20	修士(政治学)	1.25		平成8年度		
アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科					-	0.26				
アメリカ・ヨーロッパ文化学専攻(博士前期課程)	2	5	-	10	修士(アメリカ・ヨーロッパ文化学)	0.3		平成11年度	同上	
アメリカ・ヨーロッパ文化学専攻(博士後期課程)	3	5	-	15	博士(学術)	0.26		平成13年度	同上	
心理福祉学研究科					-	0.15				
心理福祉学専攻	2	10	-	20	修士(心理福祉学)	0.15		平成18年度	同上	
大学院全体	修士(博士前期)2 博士後期3	25 5	- -	50 15	-	0.62 0.26	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

個人情報を含む情報につき、HPでの公表は割愛。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設 置 時 (平成30年4月)	・ 完成年次前に、定員規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 ・ 聖学院大学人文学部欧米文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	・ 平成30年度に定年規程を改正し、これまで欠けていた、特任教員の更新上限年齢についての定めを整備した。このため令和元年度において、退職年齢を超える専任教員はいない。 併せて、高齢教員の割合が高いことによる教育内容の継承に関わる課題等への対策としては、継続して、若手・中堅教員により、総合的なカリキュラム把握とマネジメントを実施しつつある。 ・ 高校訪問やオープンキャンパス、複数媒体を使用した広報活動等において学生確保に向けた取り組みを改善、強化したこと、またここ3年間に「グローバルキャンプ」という産学共同事業による高大接続プログラムを実施したことなどの結果、人文学部欧米文化学科の入学者数は増加し平均入学定員超過率も0.89倍と設置届出時より改善した。継続して定員充足に向け努める。	履行済 履行済

設置計画履行状況 調査時 (平成30年)	該当なし		該当なし		該当なし
----------------------------	------	--	------	--	------

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人文学部 児童学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	-

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的なFD・SD委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD・SD委員会は、児童学科を含めて教員5人、職員4人で構成し、月に1回開催している。

c 委員会の審議事項等

予算案、年間の活動計画、個別事業などの検討

② 実施状況

a 実施内容

- 1) アクティブ・ラーニング研究会
- 2) 学生参画FD
- 3) シラバス執筆マニュアルの作成
- 4) 専任教職員対象SD研修会
- 5) シラバスチェック
- 6) 新任非常勤講師対象FD研修会
- 7) 〈児童〉における「総合人間学の試み」研究会
- 8) 児童学科教職課程科目におけるICT活用に関する検討会

b 実施方法

FD研究会・研修会の開催、授業評価アンケート結果を元にした学生への意見聴取、シラバスチェック

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- 1) 平成30年10月22日（月）外部講師による講演会形式
講演題「玉川大学におけるアクティブ・ラーニングの推進と可視化」
参加者：教員18名（講師1名含む）、事務職員10名
- 2) 平成30年9月13日（木）・14日（金）ディスカッション形式
授業評価アンケート集計結果を元に学生から意見聴取を行った。
参加者：児童学科学生2名を含め学生22名、職員1名
- 3) 平成30年11月以降 資料配布
シラバス執筆マニュアルを作成し、教員への2019年度出講依頼に合わせて配布。
これにより、全体的に例年以上に完成度の高いシラバスとなった。
- 4) 平成31年1月14日（月）外部講師による講演会・ディスカッション形式
講演題「聖学院にこれからに向けて ―SDGsに即して」
外部講師を招き、講演を行った後、教員、職員毎にグループ討議を行った。
参加者：専任教員94名、専任事務職員74名
- 5) 平成31年1月25日（金）～2月4日（月）
FD・SD委員によるシラバスチェックを実施。不備のあったシラバス（延べ127件）の執筆担当者にシラバス修正を依頼

- 6) 平成31年3月6日（水）ガイダンス・質疑応答形式
- ・「本学における教育力向上への取り組み」「本学における授業授業運営等」の説明
 - ・「授業ポータルサイトの使用方法」「学生支援体制」「障害学生への修学支援」の説明
 - ・学科別の懇談と質疑応答、教室・施設案内
- 参加者：新任非常勤講師：12名，専任教員：13名，職員：3名
- 7) ①平成30年9月19日（水）講演・ディスカッション形式
- 研究会主題「家庭の読み書き環境と子どもの読み書き発達—カナダ、中国、日本の縦断研究から」
- 参加者：児童学科教員16名、職員2名
- ②平成31年2月20日（水）講演・ディスカッション形式
- 研究会主題「大学の開放授業講座（リカレント教育事業）におけるリカレント受講生と正規学生の間に生じた教育的作用について—ジェネレイショナル・サイクルの視点から—」
- 参加者：児童学科教員18名，職員2名
- 8) 平成31年2月20日（水）報告会
- 学科会にて「教育方法論」におけるICT活用、プログラミング教育実践報告を行う。
- 参加者：児童学科教員18名
- 令和元年度は学科会にて毎月、教職課程科目におけるICT活用の実践例を科目担当者が発表し教員相互に学び合う機会とする。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1)～8)の実施を踏まえ、令和元年度は授業の内容、方法、評価方法などを改善する予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成30年度は各学期末に授業評価アンケートを実施。令和元年度以降も同様に実施予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

平成30年度は、学内システムで教員ごとに担当科目のアンケート結果を公開。学生からの評価及び今後の課題（改善策）について当該教員が応答する冊子「授業アンケートに答えて」を作成し学内各所に設置。ポータルサイトにて教職員や学生に学生に公開。令和元年度も同様に公開予定。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

該当なし

- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

- c 委員会の審議事項等

該当なし

- d その他

該当なし

② 審議状況

- a 審議した内容

該当なし

- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

人文学部を基盤に幼稚園・小学校・特別支援学校の教職課程に保育士資格課程を備えた児童学科は、意欲のある入学生を得て、子どもをめぐる今日的課題を人文学的基礎の上に探究する教育研究を順調に実行した。入学直後に履修モデルを説明したことを受け、入学者の半数が小学校教職を、またその半数が特別支援教職も重ねて学ぶことを志望し、残りの半数が保育者を志望し、言葉の課題を軸に据えた教育課程での学修を重ねている。

小学校英語・幼児英語の科目への興味関心から異文化へと視野を広げる教育課程が学生の意欲を引き出した面は大きく、選択科目である学科独自の海外研修や、学内外で実施されたイングリッシュキャンプ等の行事への参加が活発になされた。

学科の新設と共に開設された特別支援教職課程もガイダンスを重ねて2019年度よりの科目の開講に備えた。同時に「学校インターンシップ」につながる体系的な特別支援学校ボランティア活動も始動し、意欲の高い学生の探究心に応えている。

また、プロテスタント・キリスト教の精神および文化と学校教育の接点を対象とする新設科目の2019年度開講に備えた準備を行い、人文学部設置の趣旨・目的の実現性に向けた努力が形をなしてきている。2019年度入学生については児童学科の定員充足が果たされたことも、設置の趣旨・目的の達成に向けて良好な状態にあることの反映とみられる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成26年5月1日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開済

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （令和元年 9月 30日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。